

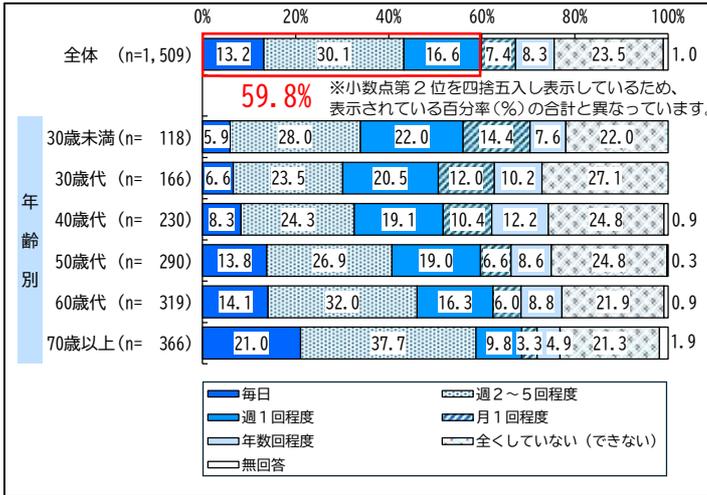
磐田市スポーツ市民意識調査 結果概要

成人(18歳以上)のスポーツ実施率

59.8% (2025年)

※スポーツ実施率…スポーツを定期的(週1回以上)行っている成人の割合のこと

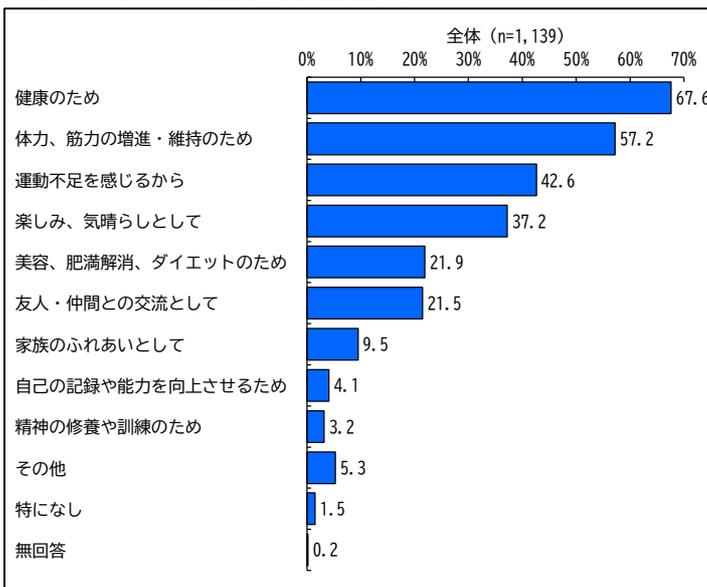
前回調査時(2020年)から **8.8** ポイント向上



この1年間でのスポーツ・運動の程度については、「週2~5回程度」が30.1%と最も多く、次いで「全くしていない(できない)」が23.5%、「週1回程度」が16.6%などとなっています。

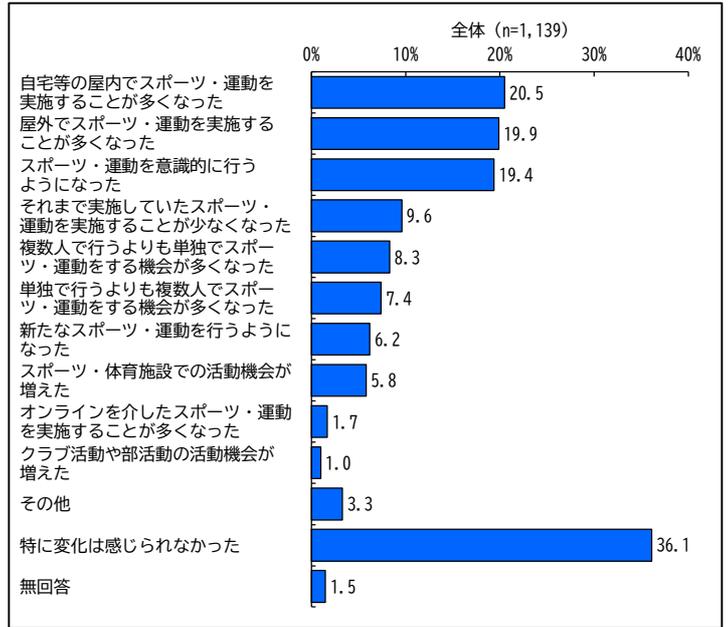
年齢別でみると、「30歳代」と「40歳代」では「全くしていない(できない)」が最も多くなっています。

Q7. スポーツを実施した理由



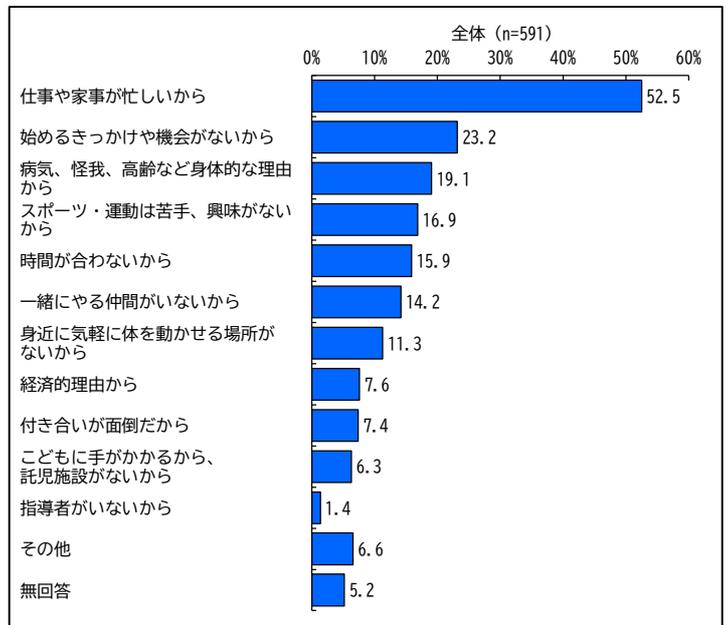
この1年間に、スポーツ・運動を実施した理由については、「健康のため」が67.6%と最も多く、次いで「体力、筋力の増進・維持のため」が57.2%、「運動不足を感じるから」が42.6%などとなっています。

Q8. 運動を実施する環境の変化について



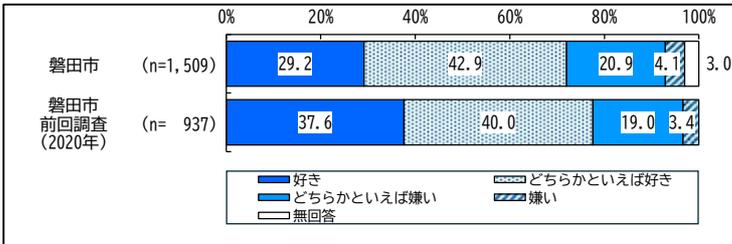
この1年間でのスポーツ・運動を実施する環境の変化の有無については、「自宅等の屋内でスポーツ・運動を実施することが多くなった」が20.5%と最も多く、次いで「屋外でスポーツ・運動を実施することが多くなった」が19.9%、「スポーツ・運動を意識的に行うようになった」が19.4%などとなっています。また、「特に変化は感じられなかった」が36.1%となっています。

Q10. スポーツを実施していない(できない)理由



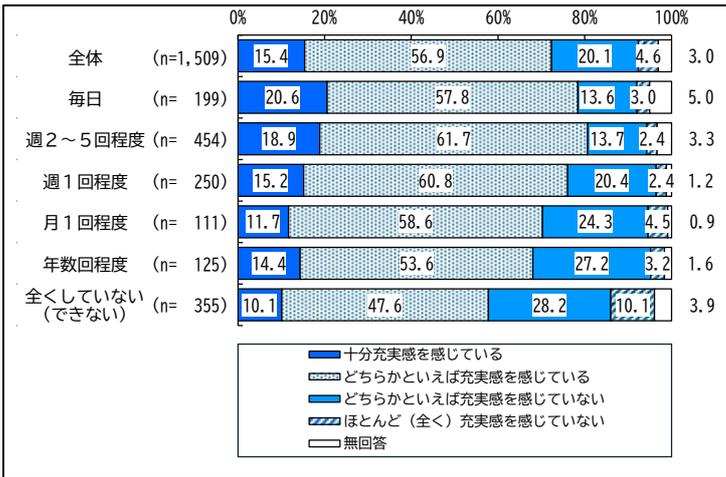
スポーツや運動を全くしていない(できない)理由として、「家事や仕事忙しいから」を挙げた市民が最も多くいました。30歳代から50歳代までのスポーツ実施率が低いこととも大いに関連があると考えられます。

Q14. スポーツが好きな人の割合



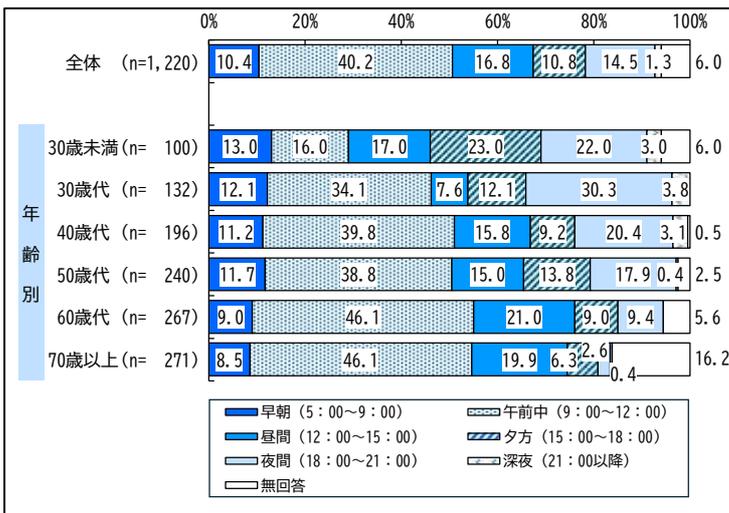
スポーツが好きな人の割合について「好き」「どちらかといえば好き」と答えた人の割合が72.1%となっている。前回調査と比べると5.5%下がっている。

Q15. 充実感×スポーツ実施状況



日常生活の中でどの程度充実感を感じているかについてはスポーツの実施頻度が多ければ多いほど充実感を感じている人が多いという結果になっています。

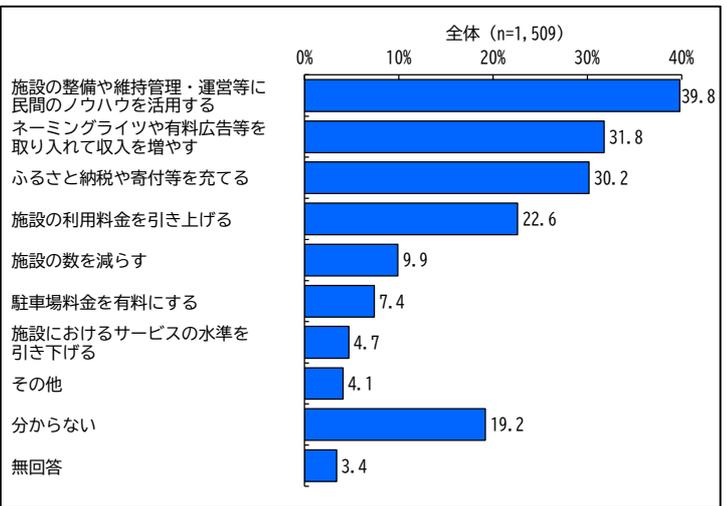
Q18. 運動を実施する場合の時間の希望



今後日常生活のなかでスポーツ・運動を実施する場合の希望②時間帯については、「午前中（9：00～12：00）」が40.2%と最も多く、次いで「昼間（12：00～15：00）」が16.8%、「夜間（18：00～21：00）」が14.5%などとなっています。

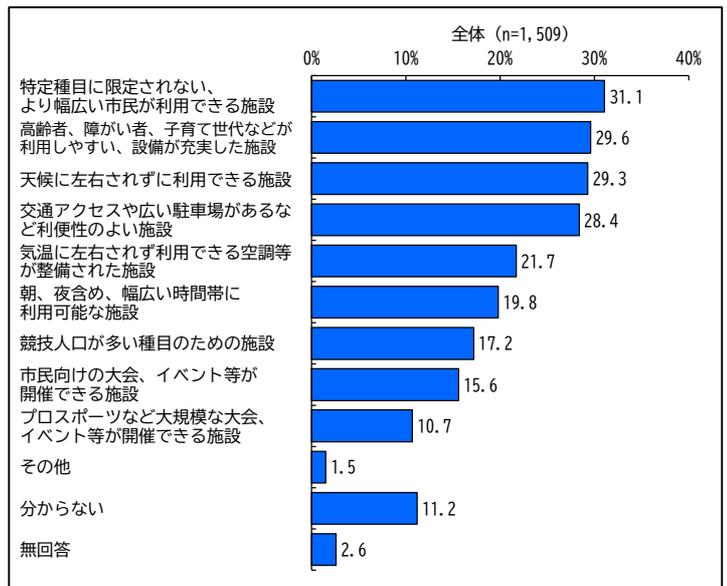
年齢別でみると、“30歳未満”は「夕方（15：00～18：00）」が23.0%と最も多くなっています。

Q22. 施設の維持管理を続けるために効果的と思う取組



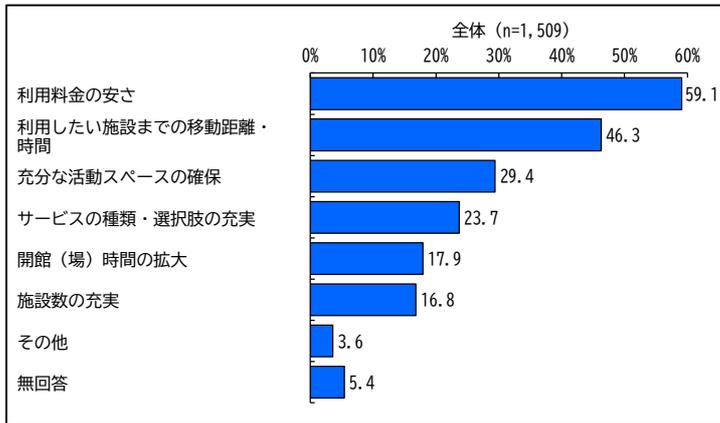
スポーツ・体育施設の維持管理を続けるために効果的だと思う取組については、「施設の整備や維持管理・運営等に民間のノウハウを活用する」が39.8%と最も多く、次いで「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が31.8%、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が30.2%などとなっています。

Q23. 今後優先的に維持整備していくべき施設



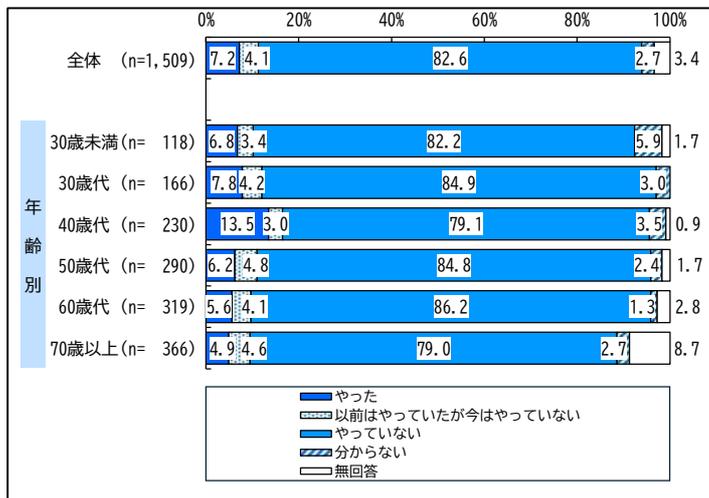
今後優先的に維持整備していくべき施設として最も多かったのは「特定の種目に限定されない、より幅広い市民が利用できる施設」を挙げた市民が最も多くいました。その次に「高齢者、障がい者、子育て世代などが利用しやすい施設」が挙げられました。特定の種目、特定の世代に限らず幅広い世代、用途での利用が求められています。

Q25. 施設の利用において重要だと思うもの



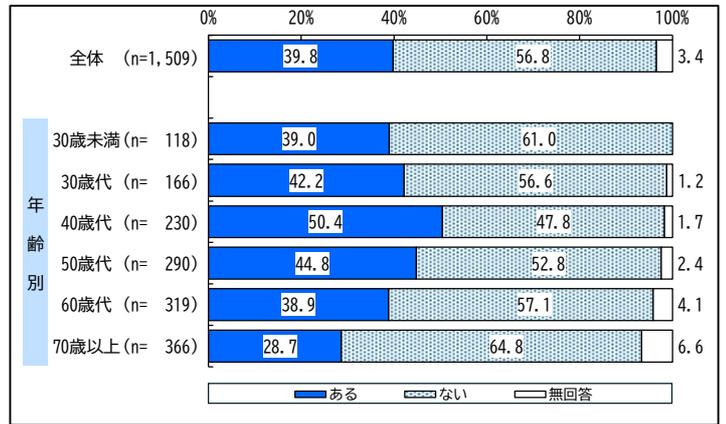
施設の利用において、重要だと思うものについては、「利用料金の安さ」が59.1%と最も多く、次いで「利用したい施設までの移動距離・時間」が46.3%、「十分な活動スペースの確保」が29.4%などとなっています。

Q26. スポーツを支える活動について



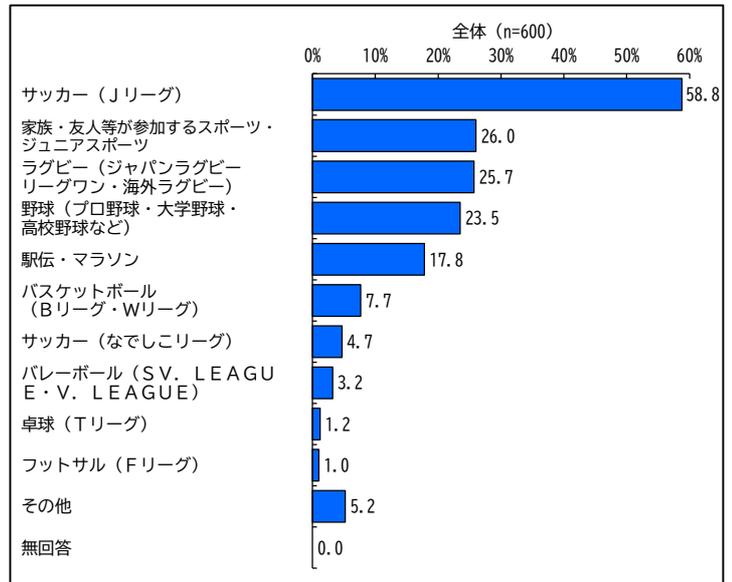
この1年間のスポーツ・運動を支える活動の有無については、「やった」が7.2%、「以前はやっていたが今はやっていない」が4.1%、「やっていない」が82.6%、「分からない」が2.7%となっています。

Q28. 過去3年間のスポーツ観戦の有無



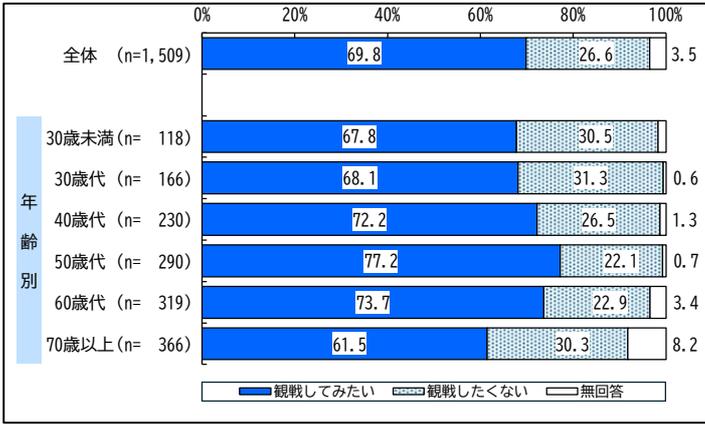
過去3年間の現地でのスポーツ観戦の有無については、「ある」が39.8%、「ない」が56.8%となっています。年齢別でみると、「40歳代」では「ある」が50.4%、「ない」が47.8%と、「ある」のほうが多くなっています。

Q29. 過去3年間に現地で観戦したスポーツ



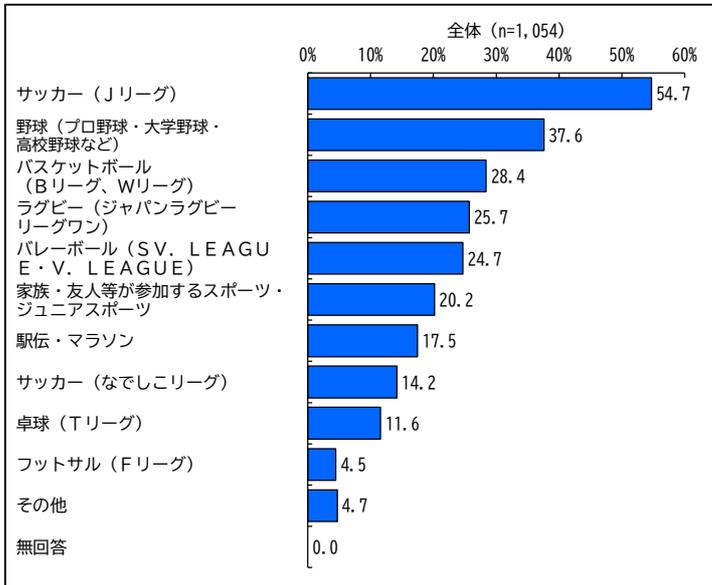
過去3年間に現地で観戦したスポーツについては、「サッカー（Jリーグ）」が58.8%と最も多く、次いで「家族・友人等が参加するスポーツ・ジュニアスポーツ」が26.0%、「ラグビー（ジャパンラグビーリーグワン・海外ラグビー）」が25.7%などとなっています。

Q30. 今後の現地でのスポーツ観戦意向



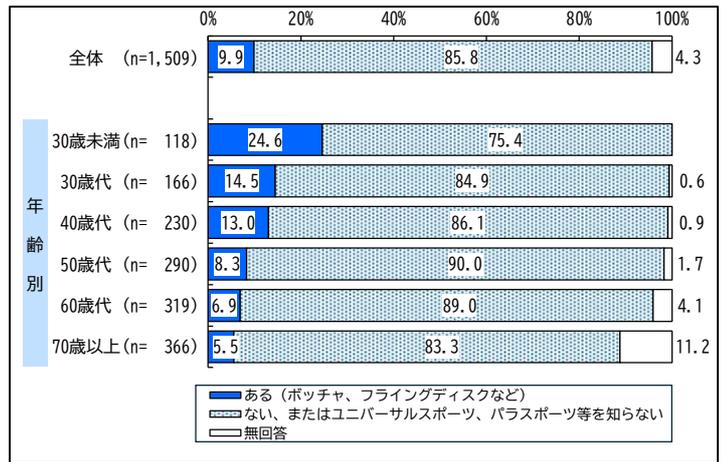
今後の現地でのスポーツ観戦意向については、「観戦してみたい」が69.8%、「観戦したくない」が26.6%となっています。

Q31. 今後現地で観戦してみたいスポーツ



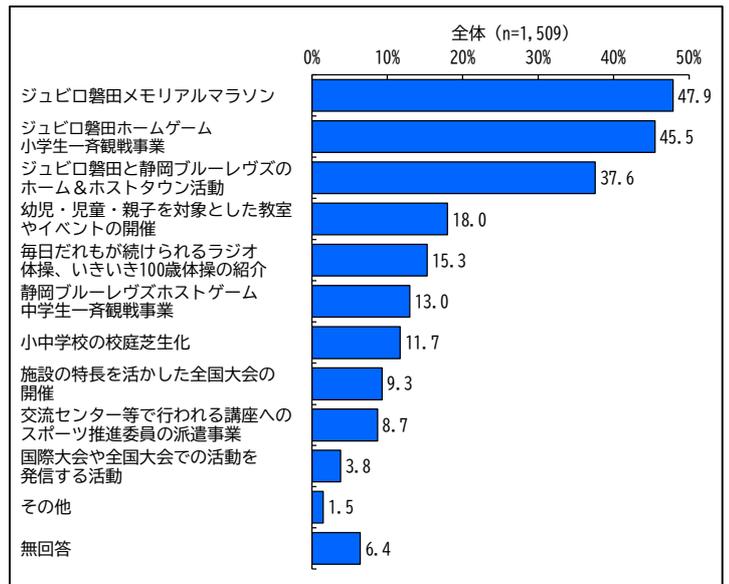
本市の特徴として、Jリーグが今後現地で観戦してみたいスポーツとして最も選ばれています。全国的には野球やメジャーリーグが多く選ばれているなか、身近にプロサッカークラブがあることが影響していると思われます。

Q32. 障がいの有無等にかかわらず誰もが一緒に楽しめるスポーツ経験の有無



障がいの有無等にかかわらず誰もが一緒に楽しめるスポーツ経験の有無については、「ある (ポッチャ、フライングディスクなど)」が9.9%、「ない、またはユニバーサルスポーツ、パラスポーツ等を知らない」が85.8%となっています。

Q34. 磐田市の特徴と感ずるスポーツ関連事業



磐田市の特徴と感ずるスポーツ関連事業については、「ジュビロ磐田メモリアルマラソン」が47.9%と最も多く、次いで「ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業」が45.5%、「ジュビロ磐田と静岡ブルーレヴズのホーム&ホストタウン活動」が37.6%などとなっています。

Q35. ご意見ご要望（自由記述）

- ・近い将来、中学校での部活動がなくなると聞きました。両親が仕事をもっていたりして、クラブに参加できる子供ばかりではないと思います。子供の運動能力の低下や体力不足、余った時間を趣味や勉強にあてることのできる子供ばかりいなくて素行不良な子供が増えはしないか少し心配しています。何か部活動にかわり、いろんな世代が参加できる、スポーツイベントを増やしてほしいと思います。
- ・地形的な特徴を活かして、海や山でのスポーツをアピールしてはどうでしょうか。プロの競技者による大会なども増やして市全体の盛り上げを期待します。
- ・ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業に代表されるような、市内の子供達に喜びを与えられるような事業に、今後も取り組んでいただきたいと思います。
- ・御厨駅前にパブリックビュー等施設があったら良いと思います。サッカーに関心を持ってもらう為にも。
- ・磐田にどんな施設、スポーツ競技、教室などがあるか、興味をそそるような一覧のパンフレットがあったらいいなと思いました。（今は自分で調べない限り、わからない所が多い。）
- ・現状予算が厳しい中、大きな立派な施設を作る事ばかりが良い訳ではない。現実、スポーツといっても幅広く、特に高齢になると、皆が楽しく遠方まで足を運べるわけでもなく、私も高齢になって、今は車の運転もしているがこれから先の事を思うと。だからせめて身近で安心して散歩出来る場所を整備していただけたらと思う
- ・スポーツ観戦してみたいけどよく分からない。SNSとかで紹介してほしい。初めての観戦ツアー的なのとかあったら行きやすいかも。
- ・スポーツ施設での体験教室などに何回か参加しましたが、続けてみようと思うほどの魅力を感じなかったです。年齢を問わず、誰もが気軽にスポーツを出来るきっかけや入口があれば良いと思います。
- ・全国でも磐田市から卓球の選手が出たり、サッカーも知られる様になり、スポーツの市で有ると思います。子供のころからスポーツが出来る場所が有ることは本当に良い事だと思います。だれでも公共の施設が身近な所があれば、いつでも利用したり参加できると思います。子供達も運動する事に興味を示し、体力の向上になるのではないのでしょうか。
- ・磐田の印象を他県の知人等に尋ねると殆どの人が「ジュビロ磐田」と言われます。磐田市の象徴と言っても過言ではありません。私の知人は、そんな「ジュビロ」が大好きで、ホーム主催のゲームは勿論ですが、アウェイでも遠くの方まで、マイカーや新幹線、ハイウェイバス等を使って必ず応援に行っています。ジュビロが大好きだから身体は疲れませんが、出費が大変だと言っています。ホームゲームでの駐車場問題もありますが、アウェイ観戦がもっと気軽に出来るよう、観戦バスを安価なバス代で提供する等、市が支援して下さればもっともっと盛り上がると思います。

◆調査対象：無作為に抽出した18歳以上の市民3,000名

◆調査期間：令和6年12月6日（金）～令和6年12月23日（月）

◆回収状況

発送数	回収方法	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000票	郵送	985票	982票	32.7%
	WEB	527票	527票	17.6%
	合計	1,512票	1,509票	50.3%

*有効回収数：回収票から全く回答がないもの（白票）を除いた数

- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（回答を1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせても100%にならない場合があります。
- ・複数回答（回答を2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。